

おかやま
労 福 協

一般社団法人 **岡山県労働者福祉協議会**

(No.244) 2022・1・1 発行

発行所：一般社団法人岡山県労働者福祉協議会

TEL.086 (253) 1569 FAX.086 (253) 0999

〒700-0086 岡山市北区津島西坂 1-4-18

【URL】 <http://oka-rofuku.com>

発行人：堅田 裕之

印刷所：株式会社創文社 TEL.086 (244) 1155



新年あけまして
 おめでとうございます。



雪の後楽園から烏城を望む

目次

●年頭のごあいさつ

岡山県労福協	会 長	森 信之	……P 2
岡山県	知 事	伊原木隆太	……P 3
連合岡山	会 長	森 信之	……P 4
中国労金岡山県営業本部	本部長	金澤 稔	……P 4
こくみん共済coop			
岡山推進本部	本部長	二宮 卓志	……P 5

岡山県生協連 会長理事 平田 昌三 ……P 5

- 2021年度臨時社員総会を開催 ……P 6
- 岡山県労福協2021学習会を開催&2021年度
 高校生のための出前講座を開催中！ ……P 7
- 「奨学金に関する全国一斉電話相談会」を実施
 &西部労福協「第39回研究集会」に参加 ……P 8



2022年 年頭挨拶

一般社団法人 岡山県労働者福祉協議会
会長 森 信之



新年あけましておめでとうございます。

昨年、岡山県労福協の諸活動に対しまして、ご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

新型コロナウイルスが猛威を振るい始めて早や二年が経過しました。昨年は、緊急事態宣言による人流の抑制やサプライチェーンの寸断による生産の停滞は経済を混乱させ、日本経済は08年のリーマンショックに匹敵する激しい落ち込みを経験しました。雇用と賃金への影響も甚大となり、特に曖昧な雇用といわれるパート・有期・派遣・外国人労働者などの格差がより鮮明となりました。ワクチン接種も進み、昨秋から経済も動き始めましたが、資源価格の高騰や変異株の影響など依然として不透明な状況は続いています。

県労福協は、コロナ禍により行動が制限される中でしたが、高校生のための出前講座やホームページのリニューアルをはじめ、活動の推進を図ってきました。引き続き、時代に即した運動スタイルにチャレンジし、この危機を乗り越えていかなければなりません。

そのためには、労福協・労働組合・福祉事業団体が連携し、一丸となって取り組むことが必要であり、「誰一人とりのこされない」持続可能な社会を創造するために労働者自主福祉活動を進めていきます。「2030年ビジョン」に基づき、奨学金制度の改善の取り組み、ライフサポート事業などをより深化させ、公助や共助を最も必要とする人たちが排除されるのではなく、寄り添えあえる社会や仕組みを再構築していくことが強く求められています。今まで以上に、連合岡山、労働金庫、こくみん共済coop、岡山県生協連の皆様との「ともに運動する」関係を強化し、共助の輪を拡げるとともに、公的セーフティーネットを拡充させ、誰もが安心して暮らし、働くことのできる社会をめざして、社会的な役割を果たしていかなければなりません。

終わりになりましたが、本年も岡山県労働者福祉協議会に対しまして、皆さんの格段のご支援・ご協力をよろしく願いすると共に、皆さんとご家族にとりまして、健康でご多幸な年となりますようお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。本年もよろしくお願いいたします。





すべての県民が明るい笑顔で暮らす 「生き生き岡山」を目指して

岡山県
知事 伊原木 隆 太



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症との長い闘いは、まもなく2年が経とうとしています。

県では、医療機関や関係機関との連携の下、検査体制の強化、療養体制の確保、ワクチン接種の加速化など県民の命と暮らしを守る対策に全力で取り組むとともに、事業者の皆さま、県民の皆さまへ休業や外出自粛などの要請を行ってきたところであり、皆さまのご理解とご協力に、改めて深く感謝申し上げます。

現在、懸念される第6波をできるだけ小さな波に抑えるべく、関係機関との緊密な連携の下、3回目のワクチン接種の円滑な実施や療養体制のさらなる強化など、さまざまな施策を推進しております。引き続き、これまで培ったコロナ対策の経験を生かし、感染拡大防止と活力ある社会経済活動の両立を図ってまいります。

私は、知事就任以来、「教育の再生」と「産業の振興」こそが本県発展の礎であるとの強い信念を持ち、県政に取り組んでまいりました。その結果、児童生徒の学ぶ力の育成や落ち着いた学習でできる環境の整備、新規の企業立地や誘致企業による安定的な雇用の創出など、目に見える成果が現れてきています。

そして、昨年4月からスタートさせた新たな県政推進の羅針盤「第3次晴れの国おかやま生き生きプラン」においても、この2つを大きな柱として据えており、知事就任10年目の節目の新年に当たり、これら2本の柱を原動力に、保健・医療・福祉の充実や防災対策の強化をはじめ、平成30年7月豪雨災害からの一日も早い復旧・復興、喫緊の課題である人口減少問題やカーボンニュートラルへの対応などに向け、全力で取り組む決意を新たにしているところであります。

さらに、新型コロナウイルス感染症を契機としたデジタル化の進展や地方分散の流れにしっかりと対応し、ウィズコロナ・ポストコロナを見据え、中山間地域の振興、循環型社会の形成など、本県の持続的な発展につながる施策も進めるとともに、テレワークをはじめ、企業の働き方改革に向けた取り組みを支援するなど、誰もが働きやすい職場環境づくりを進め、多様で柔軟な働き方を推進してまいります。

活力と希望に満ちた明るい1年となりますよう、県民の皆さまと力を合わせて県政を推進してまいりますので、ご理解とご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。



新年のご挨拶

日本労働組合総連合会 岡山県連合会
会長 森 信之



新年あけましておめでとうございます。

新型コロナウイルスの感染拡大は、学生や曖昧な雇用、不安定な雇用で働く人々など、社会的に弱い立場にある人々を直撃し、日本社会における格差や矛盾を露呈させることとなりました。コロナ禍後の社会を、一人ひとりがつながり合い、互いに支え合える社会としていくためには、労福協の「2030年ビジョン」と連合の「連合ビジョン」の理念をお互いに共有し、貧困対策や奨学金制度などの政策制度の充実・改善に向け、社会的な役割を果たしていくことが強く求められています。

連合岡山は、岡山県労福協を運動の最大のパートナーとして、「分断」と「自己責任」ではなく、誰もが公平に幸福を追求できる社会の実現に向けて、さらに運動を強化していきます。

コロナ禍の一日も早い終息と、岡山県労働者福祉協議会の益々のご発展、皆様方の今年1年のご多幸とご健康を心よりお祈り申し上げます。



新年のご挨拶

中国労働金庫 岡山県営業本部
本部長 金澤 稔



新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、中国労働金庫の事業推進につきまして、格段のご協力をいただきましたことに深く感謝申し上げます。

一昨年春からの新型コロナウイルスの感染拡大は、いまだに終息の出口が見えない状況であり、日本社会における貧困と格差の拡大などの社会的な課題が、あらためて浮き彫りになりました。このような状況の中で、これまで労福協が進められてきた貧困対策や奨学金制度改善などの運動は、ますます重要性が高まっています。中国労働金庫といたしましても、設立の原点である「助け合い精神」のもと、コロナ禍で影響を受けられた勤労者の支援など、「共助の拡大」に向けて労福協と連携した運動を引き続き推進してまいります。

コロナ禍の一日も早い終息と、岡山県労働者福祉協議会の益々のご発展、今年1年の皆様方のご健勝、ご多幸を心よりお祈り申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



新年のご挨拶

こくみん共済coop 岡山推進本部
本部長 二宮 卓志



明けましておめでとうございます。

岡山県労働者福祉協議会および会員の皆さまにおかれましては、ご家族とともに穏やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げますとともに、こくみん共済coopの諸活動に対するご支援・ご協力に心より御礼申し上げます。

さて、昨年は新型コロナウイルス感染症の影響により、事業推進や研修会開催など、十分な活動ができない中でも、オンライン学習会の開催や働き方の見直しなど、新たな業務様式への転換を進めてまいりました。

こうしたコロナ禍にあっても、生活者への自主福祉を強化し、労福協に集う加盟団体と連携し「新しい生活保障設計への取り組み・セーフティーネットづくり」への取り組みを通じて、事業と運動の発展を目指します。

こくみん共済coopを取り巻く環境は依然厳しい状況にありますが、原点（理念）である「みんなであすけあい、豊かで安心できる社会づくり」の実現にむけて、役職員一丸となって事業と運動を展開してまいります。

皆さまの益々のご健勝とご活躍を心よりお祈り申しあげ、年頭のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

岡山県生活協同組合連合会
会長理事 平田 昌三



新年あけましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては、日頃より生協にご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

コロナ禍により、くらしや雇用を取り巻く環境は厳しさを増し、格差の拡大、社会的分断や孤立などの状況が生まれています。生協では医療や購買、福祉、共済などくらしを支える事業を担い、地域に根差した助け合いの組織として役割を果たすとともに、さまざまな活動をすすめています。

また、誰一人取り残さない、安心してくらし続けられる地域社会の実現に向けて、行政や諸団体とのネットワークをより豊かなものにしながら、連携して取り組みをすすめてまいりたい所存です。皆さまにもご協力賜りますよう、よろしく願いいたします。

この1年が皆さまにとって実り多き年になりますようお祈り申し上げます。

本年もどうぞよろしく願いいたします。

2021年度臨時社員総会を開催

2021年12月23日に臨時社員総会と第4回理事会を開催しました。今回の開催にあたっては初めてZoomを利用したハイブリッド形式で行い、理事1名、代議員3名がZoomにて参加しました。

これに先立ち第3回役員選考委員会にて「役員の補充選任」を行うことを決定し、5名の方が理事に立候補され、第4回役員選考委員会にて確認されました。

これを受けて臨時社員総会で5名の方が理事として選任されました。

そして第4回理事会にて、会長に森信之、副会長に二宮卓志が就任することになりました。

なお、今回選任された5名の理事の任期は、2022年度第10回定時社員総会までとなります。



森会長 就任あいさつ



12月23日に開催された臨時社員総会および第4回理事会において会長に選任いただきました森信之です。

「すべての働く人の幸せと豊かさをめざして、連帯・協同で安心・共生の福祉社会をつくらう！」というスローガンのもと、微力ではありますが尽力して参りますので、よろしくお願いいたします。

さて、私たちは「福祉はひとつ」という中央労福協の原点に立ち返り、「つながる、よりそう、ささえ合う」社会の実現に向けて、労働団体、中国労働金庫、こくみん共済coop、岡山県生協連、各地区労福協との連携をさらに深めて活動していく必要があります。

そのためにも、会員の皆様のより一層のご協力とご理解をお願い申しあげて、就任のご挨拶に代えさせていただきます。

臨時社員総会で新たに就任された理事の皆さん



吉葉 均さん
(こくみん共済coop)



上甲 啓一さん
(岡山県生協連)



横溝 信幸さん
(倉敷地区労福協)



林田 武士さん
(笠岡地区労福協)

臨時社員総会で退任された理事の皆さん

三村 寿広さん(笠岡地区労福協) 前田 勝則さん(倉敷地区労福協)

長年にわたり理事を務めていただきありがとうございました。

岡山県労福協 2021 学習会を開催

2021年9月17日（金）第2回理事会に引き続き「（一社）岡山県労働者福祉協議会 2021 学習会」を、特定非営利活動法人 岡山NPOセンターの小桐登講師により、「SDGsを自分事・自組織事として捉える」と題して開催しました。

SDGsの中でも、労働者福祉の観点から「貧困・飢餓・ジェンダー・持続可能な都市・持続可能な消費と生産・平和・実施手段」といった目標について講演していただきました。岡山県内の事例も豊富に紹介していただき、SDGsをより身近に感じて理解を深めることができました。



岡山県労福協 2021 学習会



小桐登 講師

2021
年度

高校生のための出前講座を開催中！

2004年度より毎年開催している「高校生のための出前講座」は、社会に巣立つ若者たちが『働くことの意義を認識し、同時に社会人・消費者として当然知っておくべき基礎知識を身につける』ことを目的としています。

岡山県労福協の公益目的事業に位置づけされたこの出前講座は、岡山県ならびに岡山県教育委員会（高校教育課）の後援を受け、年度当初に県下の公立・私立すべての高校に開催案内を送付し、応募要請を行いました。

今年度は新型コロナウイルス感染の影響が長引いたこともあり申し込みが少数でしたが、5月の岡山県立総社高校に引き続いて、県立倉敷鷺羽高校において開催しました。

倉敷鷺羽高校では10月と11月の2回に分けて、中国労金水島支店の安倍講師による「消費者講座」と連合岡山の藤井講師による「ワークルール講座」を行いました。

なお、2022年2月には県立津山商業高校において「消費者講座」と「ワークルール講座」を行う予定です。



倉敷鷺羽高校のみなさん



中国労金 安倍講師



連合岡山 藤井講師

「奨学金に関する全国一斉電話相談会」を実施

2021年11月11日（木）中央労福協「2021全国福祉強化キャンペーン」の一環として、岡山県労福協も昨年に引き続き「奨学金に関する全国一斉電話相談会」を実施しました。

ライフサポートセンター相談員3名と県労福協事務局に加え、小松弁護士と中国労金岡山支店渡邊職員にも同席していただきました。

事前活動として、①中国労金県内全支店オルグ②各地区労福協にポスター・チラシを送付して周知を依頼

③岡山県労働雇用政策課へのポスター・チラシの掲示・配布要請④岡山市勤労者サポートプラザおよび倉敷市勤労者福祉サービスセンターの会員へのチラシ配布⑤JR岡山駅およびJR倉敷駅構内でのポスター掲示⑥山陽新聞への記事掲載（11月9日（火）27面）⑦中央労福協主催の「奨学金問題相談員養成研修会」（基礎編・応用編）への参加を行い、万全の態勢で臨みましたが、残念ながら岡山県では昨年に引き続き相談はありませんでした。



岡山駅地下通路



労金渡邊職員、小松弁護士



スタッフ一同

奨学金返済で無料電話相談 11日、県労福協
 県労働者福祉協議会（岡山市北区津島西坂）は11日、奨学金返済に関する無料の電話相談を行う。
 協議会の相談員が「新型コロナウィルス禍で収入が減った」などの理由で、奨学金の返済が困難になった相談者に救済制度などを紹介する。借り換えや法的な相談には、中国労働金庫の職員や弁護士が応じる。
 全国一斉の電話相談の一環。午前10時～午後5時にフリーダイヤル（0120-4161029）で受け付ける。

◀山陽新聞
 (2021年11月9日朝刊)

西部労福協「第39回研究集会」に参加

2021年11月4日（木）西部労福協「第39回研究集会」が愛媛県松山市にて41名の参加で開催され、岡山県からは二宮会長、堅田専務、池上事務局次長が参加しました。

講演は①「コロナ禍で考えるーシングルマザー支援と子ども食堂ー」（講師：シングルマザー交流会松山 まつやま子ども食堂 代表 野中玲子氏）②「労福協『2030年ビジョン』について」（講師：中央労福協事務局次長 遠藤孝一

氏）③「ライフサポートセンター事業が誕生したいきさつ」（講師：中央労福協講師団講師 高橋均氏）の3本が行われました。

講演後懇親会が開催され、他県の出席者の方々と交流を深めました。



明けましておめでとうございます

旧年中は格別の御厚情を賜り、厚く御礼を申し上げます。
皆さまのご健勝と益々のご発展を心よりお祈り申し上げますとともに、
本年も変わらずご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。
また、引き続き各プロジェクトへのご協力をお願い申し上げます。

こどもの成長応援プロジェクト

子どもたちのすこやかな成長を見守り、支えていく。

【こどもの成長応援プロジェクト】では、子育て中のパパ・ママへのサポートや、子どもの成長を支えるための、さまざまな活動を行っています。

プロジェクト1

こくみん共済
こども相談室

WEBでの相談サービスで
子育て中のパパ・ママを
専門家がサポート!

プロジェクト2

なわとび・長なわを
全国に寄贈



プロジェクト3

子育てに役立つコラムを
WEBサイトで発信



詳しくはこちらの
【こどもの成長応援プロジェクトサイト】を
ご覧ください。

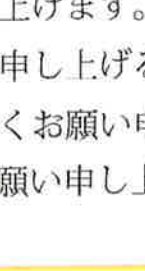


こどもの成長応援プロジェクト
<https://www.zenrosai.coop/anshin/henku/>

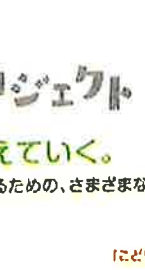
7才の交通安全プロジェクト

未来ある子どもたちを、交通事故から守っていく。

【7才の交通安全プロジェクト】では、横断線の寄贈や、特設サイトでの情報発信など、子どもたちの安全を守るための取り組みを行っています。




子どもたちのための交通安全
マシ物見探検隊



こくみん共済
金沢大学

子どもたちの交通事故を減らすため
金沢大学と共同研究を実施。



歩行中の交通事故死傷者数 (平成29年)


歩行中の交通事故死傷者数(人)

7才

公益財団法人交通事故総合分析センター調べ

7才の子どもの数は、成年年齢に比べて突出して交通事故に遭いやすいというデータがあります。


詳しくはこちらの「7才の交通安全プロジェクトサイト」をご覧ください。



7才の交通安全プロジェクト
<https://www.zenrosai.coop/anshin/7p/>

たすけあいから生まれた保障の生協です。

こくみん共済 coop は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。



岡山推進本部 岡山市駅元町 6-26 3320X001

こくみん共済 NEWS



あけまして

おめでとぅございませす

本年もよろしくお願ひ申しあげます。

二〇二二年 元旦

